

人事の実務的・実践的な課題解決にフォーカスした

人事実践セミナーのご案内

採用、教育、配置・異動、労務管理、福利厚生……。人事の仕事は多岐にわたります。また要員計画や人件費管理等、数字で考えなければならない仕事もあります。最近では働き方改革やダイバーシティ推進、健康経営、組織開発等、その守備範囲はどんどん広がっています。

一方で、「人事部」は現場や営業をよく知らないとか、数字に弱いとか、アナログで考えがちだとか、ネガティブな評価を受けてしまう悔しい場面も、あるのではないのでしょうか。

今回の人事実践セミナーでは、「経営に、営業に、現場に頼られる人事パーソン」となる上で不可欠な計数感覚、すなわち会社数字と企業活動の関係を理解できる能力を点検し、その得方方法を学びます。一方的な講義ではなく、グループワークやグループ討議を交えながら、楽しく計数感覚を身に付けるワークショップです。人事の仕事に就いて間もない方、数字に弱いと自覚している方、経営と人事を結び付け仕事のレベルを高めたい方等、人事パーソンとしてのスキルをもうワンステップ高めたいと思っている方に是非お勧めします。

参加を希望される方は、裏面の申込書に必要事項を記載の上、お申し込み下さい(入会金・年会費・イベント参加費無料)。

2019年5月次プログラムのご紹介



人事に不可欠な会社数字とビジネスの関係をつかむ力 「計数感覚」を身に付ける！

～適正人件費・採用人数・労働分配率の方向性等を、どう割り出すか？～

株式会社ヒューマンブリッジ プロフェッショナルトレーナー
マネジメント能力開発研究所 代表

千賀 秀信 氏

日時：2019年5月24日(金) 13:00～17:00

場所：パソナグループ本部ビルJOB HUB SQUARE 10FセミナールームE
〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2

メッセージ

最近の企業業績を見ると「増収減益」の傾向があります。その要因の一つに人件費の負担増があります。「働き方改革」に関連して、過去のサービス残業分の賃金支払が増加したためです。

また、テレワークやインターバル制などの働き方改革も進んでいます。さらには脱時間給制度のような成果に応じて人件費を決定する考え方も提唱されています。しかしながら、どのような仕組みや制度になると、「会社が人件費をどのくらい負担できるのか」ということの重要性は変わりません。人件費の負担を考える時、よく使われる指標が労働分配率(=人件費÷付加価値)です。いったい、労働分配率は、アップした方がいいのでしょうか？ダウンした方がいいのでしょうか？どのくらいが適正なのでしょう？

今回のセミナーでは、例えば上記のような問題を考える上で必要な、会社数字と経営や人事を関連付けて考える能力(=計数感覚)を高めるキッカケをご提供致します。頼りがいある経営の戦略パートナーとして、人事の役割を果たす上でも、いろいろな事例を考える過程を通じ、会社数字の本質を理解し、採用・教育をはじめ、人事に関する課題や解決方法を会社数字で語るようになりましょう。

プロフィール

公認会計士と税理士専門の情報処理サービス業(株)TKC(東証1部)で、財務会計・経営管理などのシステム開発、営業、広報、教育などを担当。1997年にマネジメント能力開発研究所を設立し、企業経営と計数を結び付けた独自のマネジメント能力開発プログラムを構築。「分かりやすさ」と「具体性」という点で、多くの企業担当者や受講生から良い評価を受けており、研修・コンサルティング・執筆等で活躍中。

著書に『数字オンチがみるみるなおる計数感覚ドリル』『この1冊ですべてわかる管理会計の基本』『新版 経営分析の基本がハッキリわかる本』『なぜ、スーツは2着目半額のほうがお店は儲かるのか?』等がある。

